

コロナ後遺症オンライン研修会

診療における精神科との連携と職場復帰に向けた支援

新型コロナウイルス感染症の罹患後症状（いわゆる後遺症）は、時間の経過とともに改善していくことが多いとされていますが、長期間継続したり、無理をすると悪化することもあり、状況に応じて適切に支援していくことが重要です。

本研修会では、後遺症診療における精神科との連携に加え、職場復帰に向けた支援のプロセス及び具体的な事例紹介、労災等の制度について、各分野の専門家からお話いただきます。

日時

令和6年6月23日(日)

14:30～16:30（配信開始 14:00）

形式

Web開催（オンラインによるライブ配信）
オンライン研修会は録画し、
保健医療局ホームページで後日配信予定です。

対象

医師、看護師、薬剤師などの医療従事者及び企業の安全衛生担当者等

プログラム

1 開会挨拶

賀来 満夫 先生…………… 東京iCDC所長
聖マリアンナ医科大学感染症学講座 特任教授、東北大学 名誉教授

2 発表

1. コロナ後遺症の診療における精神科との連携

小口 芳世 先生…………… 聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室 講師

2. 事業場におけるコロナ後遺症の方の職場復帰

～基本的な考え方及びプロセス～

立石 清一郎 先生……… 東京iCDC後遺症タスクフォースメンバー
産業医科大学災害産業保健センター 教授

3. 事例にみる職場復帰の実際

五十嵐 侑 先生…………… 東京iCDC後遺症タスクフォースメンバー
産業医科大学災害産業保健センター 講師

4. コロナ後遺症と労災等の制度

吉川 徹 先生…………… 東京iCDC後遺症タスクフォースメンバー
労働安全衛生総合研究所 統括研究員

3 質疑応答

申込方法

申込受付は終了しました。

問合せ先

東京都 保健医療局 感染症対策部 調査・分析課
東京感染症対策センター担当 電話：03-5320-4213

